

派遣隊からの報告（速報）第3報

29日 屋外の環境は空間の値が300cpm、地表表面は1800cpmで昨日と比べて大きな変化は見られません。測定対象者は253名で、先日までと同様に電力支援チームの方々と行いました。2名が基準値を超え、うち1名は10万cpm以上の値を示し、電力会社関係に従事する職業で原子力施設の近くまで行った既往のある方でした。靴の甲と踵部分の汚染で、靴下まで染み込んでいました。除染は無理と思われたので廃棄していただきました。もうひとは、ジャンパーの左そで部分の汚染で、18000cpmの値を示しました。ふき取り除染で基準値以下まで低下しました。

本日は特に車両の測定を依頼され、8台行いました。汚染はタイヤやワイパー部分で高値を示し、最高値は45000cpmでした。また、昨日10万cpm以上を示した男性がジャケットを洗濯して再度の測定に来場されましたので、測定してみると800cpmまで低下していることが確認できました。

午後2時ごろから、競技場のグラウンドが避難所生活をしている子供達に解放されました。とたんに元気で明るい大きな笑い声がグラウンドいっぱいに響き、明るい空気になりました。無邪気に遊ぶ姿をみて、子どもたちの逞しさすら感じました。また中には田村市のボランティアの方々や自衛官の方々が子供たちを「おんぶ」して楽しそうに走る姿が印象的で、思わず僕達も加わりたいたと思いました。

三日目のサーベイも無事に終わることが出来ました。（木沢記念病院 浅野宏文・小瀬尚輝）

